

第1回大網白里市障がい者計画等策定懇談会会議録

1 日 時 令和5年8月31日（木）午後2時から午後4時

2 場 所 中央公民館 2階会議室

3 出席者

- (1) 委員 別紙出席者名簿のとおり
- (2) 事務局 市社会福祉課 中古課長、斉藤副課長、内山主査、森田

4 配布資料

- (1) 次第
- (2) 懇談会委員名簿
- (3) 懇談会席次表
- (4) 資料1 第3次障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の考え方について
- (5) 資料2 「大網白里市障がい福祉計画（第6期）」「大網白里市障がい児福祉計画（第2期）」＝事業評価シート＝
- (6) 資料3 ヒアリングの実施団体について
- (7) 資料4 策定スケジュール（案）
- (8) 大網白里市障がい福祉計画・障がい児福祉計画についてのヒアリング用紙（団体用）（事業者用）
- (9) 大網白里市第3次障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画
- (10) 参考資料 基本指針

5 概 要

- (1) 開会
 - ・事務局の進行により開会。
- (2) 委嘱状交付
 - ・市長から委員に委嘱状を交付。
- (3) あいさつ
 - ・金坂市長あいさつ（あいさつ後、公務のため退席）
- (4) 会長及び副会長の選任について
 - ・委員の互選により、会長に森山委員、副会長に野老委員が選任。
- (5) 議題
 - ・森山会長が議長となり、議事を進行。
 - ①第3次障がい者計画・第7期大網白里市障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の考え方について
 - ・事務局から資料1に基づき説明。
 - ・質疑応答等

○委員

「精神障害者に対応した地域包括ケアシステムの構築」について、山武圏域に精神障害者の家族会があるが、家族会の高齢化等により少数しか活動に参加していなく低迷している状況を、皆様にも理解してもらいたい。

○事務局

家族会の高齢化等の話は伺っているので、一つの問題として認識させていただきます。

○委員

成果目標について、達成できなかった場合は、国からのペナルティー等があるのか。

○事務局

ペナルティー等は、ございません。

○委員

事業評価に対して、その結果がどのように反映されるのか明らかにしてほしい。
また、山武圏域自立支援協議会や、新しくできた基幹相談支援センター等の資料を次回から添付してほしい。

○事務局

今回の懇談会において、資料を提示した上で説明できればと考えております。

②第3次障がい者計画・第6期大網白里市障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の事業評価について

- ・事務局から資料2に基づき説明。
- ・質疑応答等

○委員

一覧のシートと具体的な説明資料のページ数が違っているところがあります。

○事務局

修正いたします。

○委員

11ページの「地域生活支援事業の推進」の1番上「理解促進研修・啓発事業」について、2番の計画通りとなっているが、「理解を深めるための研修会やイベントの開催、啓発活動」は、どのようなことを行ったのか。

○事務局

障がいに関するマーク等を障がい福祉のしおりで啓発しております。

イベント等は、開催しておりません。

○委員

研修会の開催はどうか。

○事務局

研修会については、山武圏域や県では開催しておりますが、市独自では開催しておりません。

○委員

自発的活動支援事業について、遅れているとのことで、具体的な取り組みはなしとなっておりますが、団体等に働きかけは行っていますか。

○事務局

市としては、行っておりません。

○委員

団体から申し出があれば受けるということか。

○事務局

協力する形になると思われます。

○委員

予算はあるのか。

○事務局

予算はございません。

○委員

11ページの必須事項について、成年後見制度の事業が2項目ありますが、後見人制度自体に問題が起きている。

国の必須事業ではあるが、精査は必要と思われる。

○事務局

参考意見として、承らせていただきます。

○事務局

補足として、成年後見制度自体に多くの問題があることは、認識しておりますが、成年後見制度利用支援事業については、国の補助事業であり、生活困窮者等に対する報酬助成が当該事業の内容になります。

また、こちらに掲載しているものは、全て国の補助事業で、事業評価については、事業が計画通り進んでいるかどうかを評価するものになりますので、ご理解いただければと思います。

○委員

障がい者の啓蒙について、充足している自治体と、充足していない自治体があり、地域格差があると思われる。

財政的なものなのか、マンパワーの問題なのか、政策自体の独創性等で違いが出ているのか。

○委員

補足として、財政の豊かな市町村は医療費の助成等が違います。

例えば、精神障害者の重度心身障害者医療費助成について、1級の手帳所持者は助成対象となりましたが、2級の手帳所持者は助成対象にはならない等、財政的な問題はあると思います。

○事務局

重度心身障害者医療助成について、2級の手帳所持者の方を対象とした場合、県の助成対象ではないため、市独自となることから、本市としては厳しいものがあり、そのような観点から見ると、障害がある方に対して満足のいくサービスが提供できているかと言えばできていないことになると思われます。

○会長

委員二人の意見を私なりに解釈すると、国からの数値目標に対して、大網白里市の進捗状況が計画どおりなのかということですが、他の市町村と比べて、どういう状況なのかがわかると計画の策定に向けての意見が言いやすいというご意見なのかと私は解釈したのですがどうですか。

○委員

そうですね。

同じような地方都市でも、限られた財源の中で生き残らなければならないのが地方の置かれている状況だと思います。

多少、俯瞰的に見るのが求められている時期ではないかと思います。

○会長

ありがとうございます。

数値目標以外のものについて、計画に盛り込めないかというような意見だと思います。

○委員

私は、千葉市の病院に勤務していましたが、精神障害者の方が退院してアパートを借りる際、不動産業者に了解してもらえない場合がある。

不動産業者が障害者ということで受けてくれないという場合があるが、このような場合、副会長のワーナーホームではどのような対応をしているのか。

○副会長

不動産業者で、障害者に理解のある方もいるので、そこに相談をしています。理解していただける不動産業者も少しずつ出てきています。

○委員

それについて、市がインセンティブをつけて応援するという事は可能か。

○事務局

補助はないが、令和4年度から山武圏域で基幹相談支援センターが立ち上がっており、基幹相談支援センターの協力により、不動産業者からも理解を得ているところもある。

○委員

インセンティブとはお金だけではなく、例えば不動産業者を表彰する等、市としても出来ることがあるのではないかとということで提案させていただく。

③関係団体等へのヒアリングについて

- ・事務局から資料3、4、5に基づき説明。

- ・質疑応答等

- 委員

- 障がいのある方の状況について、防災・防犯対策の遅れという文言があるが、防災計画は、市が策定していますか。

- 事務局

- 安全対策課で策定しております。

- 委員

- このヒアリングの内容に関しては、防災防犯との話と連動してヒアリングをする項目じゃないかと思いました。

④今後のスケジュールについて

- ・事務局から資料6に基づき説明。

- ・質疑応答等

- 委員

- 11月の日程はわかりますか。

- 事務局

- 森山会長と調整させていただき、なるべく早めに皆様にお知らせできればと考えています。

(6) 閉会